

各 位

会社名 ワイエスフード株式会社
代表者名 代表取締役社長 緒方正憲
(JASDAQ・コード番号3358)
問合せ先 取締役管理本部長 岩下 征吾
TEL 0947-32-7382

資本業務提携契約の締結及び第三者割当による自己株式の処分に関するお知らせ

当社は、本日開催の当社取締役会において、株式会社アスラポート・ダイニング（以下「アスラポート・ダイニング」といいます）との間で資本業務提携契約の締結及びアスラポート・ダイニングを割当先とする第三者割当による自己株式の処分（以下「本自己株式処分」）を行うことについて決議し、資本業務提携契約を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

I. 資本業務提携の概要

1. 資本業務提携の理由

当社は、「山小屋」、「ばさらか」、「一康流」、「Y's-KITCHEN」ブランドなど、ラーメン事業はもとより、焼き肉併設店舗及び居酒屋併設店舗を含み、日本国内約120店舗を展開しているほか、海外におきましては40店舗以上出店するなど、国内外合わせて160店舗を運営しております。

しかしながら、国内におきましては、景気の先行きの不安はいまだ払拭できないでいるほか、原材料の高騰など飲食事業を取り巻く環境は引き続き厳しい状況が継続すると想定しております。また、海外におきましてもラーメン業態の需要は高い推移で継続すると考えられるものの、数年後には同業態の競争の激化が考えられます。

このような厳しい外食産業の環境の中で成長を続けるためには、未出店地域への店舗網の拡大及び事業効率の向上が有効であると考えております。当社とアスラポート・ダイニングは、ともに外食チェーン展開を主体としていることに加え、互いに未出店地域に店舗網を有していることから、それぞれの企業価値向上を図るための協力体制を構築し、経営ノウハウ及び経営資源等を相互活用することが有効と判断し、財務基盤の強化を可能とする資本提携先、また収益向上及びコスト削減を可能とするパートナーとして選定いたしました。

一方、アスラポート・ダイニングは、焼肉、居酒屋等の外食フランチャイズを中心に全国で429店舗を展開しており、昨年度より新たに「食のバリューチェーンを構築する」という目標を掲げ外食から生産事業への進出を果たし、多層的な付加価値を生み出すビジネスモデルの構築に取り組んでいます。それと同時に、外食部門の競争力向上のため「ブランドポートフォリオの強化」として、主に昼の需要を獲得できる業態の強化にも力を入れております。

当社の、強固な収益基盤を確立するため、パートナー企業の選定を進めていた中で、当社取引先を通じてアスラポート・ダイニングをご紹介いただき、同社との間でアライアンスに関する協議を行う機会を得ました。その後、両社間で慎重に検討を重ねた結果、当社とアスラポート・ダイニングは双方の企業価値向上が見込めるとして、資本業務提携契約を締結することとしました。

資本業務提携を行うことにより国内におきましては、原材料の共同購入によるスケールメリットを活かしたコストの削減に加え、物流拠点の最適化にも取り組むことにより、原材料を始めとする資材の保管・出荷業務の効率化等のシナジー効果が期待できます。

さらに、海外におきましては、アスラポート・ダイニングの関連企業が欧州及び北米に事業拠点を構えていることもあり、当社が未開拓の地域における加盟オーナーの選定及び現地調査等、「山小屋」、「ばさらか」、「一康流」、「Y's-KITCHEN」ブランド店舗の出店における加速化・効率化を図れることはもちろん、当社が海外事業展開で培ったノウハウを活かし、アスラポート・ダイニングが展開している各種ブランドの海外進出をコンサルティングする等、両社の経験、強みを活用した新たな収益の獲得を目指して参ります。

2. 資本業務提携の内容

(1) 業務提携の内容

業務提携の詳細については、以下の事項をはじめとして、今後、両社間で協議、決定してまいります。

- ①国内外における未出店地域への共同展開とその協力
- ②国内外での外食運営ノウハウの相互利用
- ③生産設備及び物流拠点の相互利用
- ④材料、備品等の共同購入など調達の多様化及び効率化
- ⑤人材交流による組織の活性化

(2) 資本提携の内容

当社とアスラポート・ダイニングは、両社の業績向上を目的とした本業務提携に係る協議の過程で、業務提携の効果を最大にするためには相互株式を継続保有し、将来にわたり確固たる関係を構築していくことが重要であり、業務提携と併せて相互に資本関係を構築することが有用であると判断いたしました。相互出資については、両社株式の流通性、事業の経済性評価、財務状況等を総合的に勘案した上で両社協議の結果、資本提携を行うことで合意しております。

当社とアスラポート・ダイニングは、双方の経営資源を有効に活用することはもちろん、信頼関係強化及び収益基盤を確立するために、アスラポート・ダイニングが当社の保有する自己株式 287,300株を本自己株式処分により取得することで合意いたしました。

なお、本自己株式処分後に、アスラポート・ダイニングが所有することになる当社株式の所有割合は、発行済株式総数に対して7.42%、議決権総数に対して8.01%の割合となります。

一方、当社はアスラポート・ダイニングの筆頭株主である株式会社HSIグローバルから、普通株式199,300株（発行済株式総数の1.02%、議決権比率1.02%、1株当たり428円、取得総額85百万円）を平成27年3月2日に市場外取引により取得いたします。

詳細につきましては、アスラポート・ダイニングが本日公表した「ワイエスフード株式会社との資本業務提携に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 日程

- (1) 取締役会決議・・・・・・・・・・・・・・・・平成27年3月2日
- (2) 資本業務提携契約締結・・・・・・・・・・・・・・・・平成27年3月2日
- (3) 当社によるアスラポート・ダイニング株式取得日・・・平成27年3月2日
- (4) 本自己株式処分の払込期日・・・・・・・・平成27年3月17日

4. 資本業務提携の相手先の概要

後記「Ⅱ. 第三者割当による自己株式処分 6. 処分予定先の選定理由等 (1) 処分予定先の概要」をご参照下さい。

5. 今後の見通し

後記「Ⅱ. 第三者割当による自己株式処分 8. 今後の見通し」をご参照下さい。

Ⅱ. 第三者割当による自己株式処分

1. 処分要領

(1) 処分期日	平成27年3月17日
(2) 処分株式数	当社普通株式 287,300株
(3) 処分価額	1株につき 297円
(4) 資金調達の額	85,328,100円
(5) 募集又は処分方法 (処分予定先)	第三者割当による処分 (株式会社アスラポート・ダイニング)
(6) その他	上記各号については、金融商品取引法による届出の効力発生を条件としております。

2. 処分の目的及び理由

前記「Ⅰ. 資本業務提携の概要 1. 資本業務提携の理由」に記載の通り、当社とアスラポート・ダイニングは、各々のノウハウ及び経営資源を相互に提供及び活用し業務上のシナジーを創出するために資本提携することで合意いたしました。今後、両社の信頼関係を構築し、本資本業務提携を円滑に推進することが当社の事業の発展や収益力向上に資すると判断し、アスラポート・ダイニングに対し第三者割当による自己株式処分を行うこととしたものです。

3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期

(1) 調達する資金の額

① 処分価額の総額	85,328,100円
② 発行諸費用の概算額	—
③ 差引手取概算額	85,328,100円

(2) 調達する資金の具体的な使途

本自己株式処分につきましては、前記「2. 処分の目的及び理由」に記載のとおり、本提携の一環として行うものであり、上記差引手取概算額 85,328,100円については、全額をアスラポート・ダイニングの普通株式の取得費用に充当いたします。

4. 調達する資金使途の合理性に関する考え方

本自己株式処分により調達する資金の使途であるアスラポート・ダイニングの普通株式の取得は、本提携の一環として両社が相互の株式を保有することで本提携の効果を確実に実現することを目的とするものであります。当社といたしましては、本提携は当社の企業価値及び株式価値の向上に繋がるものと考えており、本自己株式処分により調達する資金の使途については合理性があると判断しております。

5. 処分条件等の合理性

(1) 払込金額の算定根拠及びその具体的内容

処分価額につきましては、最近の株価推移に鑑み、恣意性を排除した価額とするため、当該処分に係る取締役会決議の前営業日（平成27年2月27日）の東京証券取引所における当社株式の終値である297円としております。取締役会決議の前営業日の当社株式の終値を採用することにいたしましたのは、取締役会決議直前の市場価格であり、処分価額として合理的であると考えたためです。

また、当該株価は東京証券取引所における当該取締役会決議の直前1か月間（平成27年1月28日から平成27年2月27日まで）の終値の平均値である280円に対して6.07%のプレミアム、直前3か月（平成26年11月28日から平成27年2月27日まで）の終値の平均値である275円に対して8.00%のプレミアム、直前6か月（平成26年8月28日から平成27年2月27日まで）の終値の平均値である273円に対して8.79%のプレミアムとなっております。

なお、上記取締役会に出席した監査役全員が、上記算定根拠による払込金額の決定は、当社株式の価値を表す客観的な値である市場価格を基準とし、かつ日本証券業協会の「第三者割当増資の取扱いに関する指針」に準拠したものであることから適正かつ妥当であり、特に有利な払込金額には該当せず適法である旨の意見を表明しております。

(2) 処分数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

本自己株式処分により、処分予定先に割り当てる株式数は287,300株であり、本自己株式処分前の当社の発行済株式総数3,873,000株に対し7.42%（小数点第3位以下を四捨五入、平成26年9月30日現在の総議決権個数35,855個に対する割合8.01%）に相当し、一定の希薄化が生じます。

しかしながら、当社といたしましては、本件の処分予定先との資本関係を生じさせることは、処分予定先との継続的な取引基盤の強化により、外食事業の強化に資するものと考えており、本自己株式処分による処分数量及び株式の希薄化の規模は合理的であると判断いたしました。

6. 処分予定先の選定理由等

(1) 処分予定先の概要

(1) 名 称	株式会社アスラポート・ダイニング	
(2) 所 在 地	東京都港区高輪二丁目 16 番 29 号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 檜垣 周作	
(4) 事 業 内 容	飲食店のフランチャイズ本部運営事業、食品製造事業、グループの経営管理	
(5) 資 本 金	816 百万円	
(6) 設 立 年 月 日	平成 19 年 1 月 12 日	
(7) 発 行 済 株 式 数	19,601,815 株	
(8) 決 算 期	3 月決算	
(9) 従 業 員 数	(連結) 220 名	
(10) 主 要 取 引 先	日本酒類販売	
(11) 主 要 取 引 銀 行	東京スター銀行、横浜銀行、肥後銀行、鹿児島銀行	
(12) 大株主及び持株比率 (平成 26 年 9 月 30 日現在)	H S I グローバル株式会社	37.89%
	田阪和央	8.34%
	酒井信一	3.57%
	マイルストーンキャピタルマネジメント株式会社	2.43%
	川上統一	2.20%
	投資事業組合 G V - 2	1.43%
	オリエントビルデベロップメント 6 号株式会社	1.40%
	ザバンクオブニューヨークージャスディクトリー ィーアカウント 常任代理人株式会社みずほ銀行決済営 業部	1.26%
	J A I C - 中小企業グローバル支援投資事業有限責任 組合無限責任組合員 日本アジア投資株式会社	0.95%
	檜垣周作	0.43%
(13) 当事会社間の関係		
資 本 関 係	該当事項はありません	
人 的 関 係	該当事項はありません	
取 引 関 係	該当事項はありません	
関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	該当事項はありません	

(14) 最近3年間の経営成績及び財政状態			
決算期	平成24年3月期	平成25年3月期	平成26年3月期
連結純資産	1,017百万円	1,411百万円	1,886百万円
連結総資産	2,848百万円	3,388百万円	9,728百万円
1株当たり連結純資産(円)	56.14円	75.21円	94.64円
連結売上高	7,307百万円	7,320百万円	9,396百万円
連結営業利益	286百万円	356百万円	562百万円
連結経常利益	270百万円	360百万円	460百万円
連結当期純利益	241百万円	280百万円	300百万円
1株当たり連結当期純利益(円)	14.14円	15.55円	16.41円
1株当たり配当金(円)	—	—	—

※ 処分予定先であるアスラポート・ダイニングは、東京証券取引所JASDAQに上場しており、会社の履歴、役員、主要株主等について有価証券報告書等において公表しております。

また、処分予定先は、東京証券取引所に提出している「コーポレート・ガバナンスに関する報告書」の中で、反社会的勢力との関係を一切遮断する旨の宣言をしております。以上から、当社は、処分予定先、処分予定先の役員もしくは子会社又は処分予定先の主要株主が反社会的勢力とは一切関係がないものと判断しております。

(2) 処分予定先を選定した理由

前記「I. 資本業務提携の概要 1. 資本業務提携の理由」に記載のとおり、当社とアスラポート・ダイニングは、両社の経営ノウハウや経営資源等を相互に有効活用することにより、それぞれの企業価値向上を図るため本提携を行うことといたしました。本自己株式処分は、本提携の一環として両社が相互の株式を保有することで本提携の効果を確実に実現することを目的とするものであり、同社を本自己株式処分の処分先といたしました。

(3) 処分予定先の保有方針

処分予定先に対して、本自己株式処分による第三者割当は、取引先との関係強化を目的としていることを説明した上で、賛同頂いていることから、本自己株式処分により割り当てる株式の保有方針について、当社株式を長期的に保有する方針である旨の意向を、別途、口頭にて表明していただいております。

また、当社は処分予定先との間で、本自己株式処分による割当を受けた日（平成27年3月17日）から2年間において、処分予定先が本自己株式処分により取得した株式の全部又は一部を譲渡した場合には、直ちに、譲渡を受けた者の氏名及び住所、譲渡株式数、譲渡日、譲渡価格、譲渡の理由、譲渡の方法等を当社に書面により報告する旨、並びに当社が当該報告内容を東京証券取引所に報告し、当該報告内容が公衆縦覧に供せられることに処分予定先が同意する旨の確約書を取得する予定です。

(4) 処分予定先の払込みに要する財産の存在について確認した内容

当社は、処分予定先が本自己株式処分の目的に賛同して頂いていること、また処分予定先の直近の第8期有価証券報告書（平成26年6月30日提出）及び第9期第3四半期報告書（平成27年2月13日提出）における財務諸表により、本自己株式処分に係る払込みに必要かつ十分な現預金を有していることを確認しております。

7. 処分後の大株主及び持株比率

処分前（平成 26 年 9 月 30 日現在）		処 分 後	
(株)テクノバンク・サンケン	20.57%	(株)テクノバンク・サンケン	19.04%
緒方 正年	6.67%	(株)アスラポート・ダイニング	7.42%
ワイエスフード取引先持株会	5.96%	緒方 正年	6.18%
緒方 正憲	3.85%	ワイエスフード取引先持株会	5.52%
緒方 秀憲	3.07%	緒方 正憲	3.57%
緒方 康憲	2.87%	緒方 秀憲	2.85%
大陽製粉(株)	2.45%	緒方 康憲	2.66%
水元 公仁	2.37%	大陽製粉(株)	2.27%
(株)西日本シティ銀行	1.74%	水元 公仁	1.61%
アサヒビール(株)	1.34%	(株)西日本シティ銀行	1.24%

(注) 1. 処分前及び処分後の大株主及び持株比率については、平成 26 年 9 月 30 日現在の株主名簿を基準としております。

2. 上記表には、当社保有の自己株式を含めておりません。また、当社保有の自己株式 287,300 株（平成 26 年 9 月 30 日現在）は全て処分となります。

3. 持株比率は当社保有の自己株式を除いて算出しております。

4. 処分後の大株主及び持株比率については、平成 26 年 9 月 30 日現在の株主名簿を基準として本自己株式処分による増減株式数を考慮したものです。

8. 今後の見通し

本自己株式処分による当社の平成27年3月期業績予想への影響は軽微であります。アスラポート・ダイニングとの関係強化による事業の展開により、中長期的な業績の向上に繋がるものと考えております。なお、事業進捗により今後の業績に重要な影響が見込まれる場合には、速やかに公表いたします。

9. 企業行動規範上の手続き

本件第三者割当は、①希薄化率が25%未満であること、②支配株主の異動を伴うものではないことから、東京証券取引所の定める有価証券上場規程第432条に定める独立第三者からの意見入手及び株主の意思確認手続きは要しません。

10. 最近3年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

(1) 最近3年間の業績（連結）

	平成 24 年 3 月期	平成 25 年 3 月期	平成 26 年 3 月期
連 結 売 上 高	2,842 百万円	2,201 百万円	2,005 百万円
連 結 営 業 利 益	27 百万円	14 百万円	54 百万円
連 結 経 常 利 益	14 百万円	7 百万円	47 百万円
連 結 当 期 純 利 益	△200 百万円	△85 百万円	13 百万円
1 株 当 たり 連 結 当 期 純 利 益	※ △53.68 円	※ △23.04 円	3.85 円
1 株 当 たり 配 当 金	—	—	3.00 円
1 株 当 たり 連 結 純 資 産	※ 548.99 円	※ 538.41 円	545.23 円

※当社は、平成 25 年 10 月 1 日付けで普通株式 1 株につき、100 株の割合で株式分割を行っており、「1 株当たり連結当期純利益」及び「1 株当たり連結純資産」は、その株式分割を考慮し算出しております。

(2) 現時点における発行済株式数及び潜在株式数の状況（平成 26 年 9 月 30 日現在）

	株 式 数	発行済株式数に対する比率
発 行 済 株 式 数	3,873,000 株	100.0%
現時点の転換価額（行使価額）に おける 潜 在 株 式 数	—	—
下限値の転換価額（行使価額）に おける 潜 在 株 式 数	—	—
上限値の転換価額（行使価額）に おける 潜 在 株 式 数	—	—

(3) 最近の株価の状況

① 最近 3 年間の状況

	平成 24 年 3 月期	平成 25 年 3 月期	平成 26 年 3 月期
始 値	18,700 円	14,190 円	17,010 円
高 値	19,790 円	18,300 円	22,800 円 ※369 円
安 値	13,510 円	12,410 円	15,800 円 ※195 円
終 値	13,940 円	17,390 円	※221 円

※印は、株式分割（平成 25 年 10 月 1 日付で 1 株を 100 株に分割）による権利落後の株価であります。

② 最近 6 か月間の状況

	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月
始 値	244 円	253 円	267 円	278 円	285 円	272 円
高 値	292 円	292 円	285 円	282 円	285 円	287 円
安 値	232 円	259 円	257 円	271 円	260 円	265 円
終 値	252 円	271 円	280 円	282 円	268 円	275 円

③ 発行決議日前営業日における株価

	平成 27 年 2 月 27 日
始 値	300 円
高 値	341 円
安 値	290 円
終 値	297 円

(4) 最近 3 年間のエクイティ・ファイナンスの状況

該当事項はございません。

以 上